

よい会社をつくらう よい経営者にならう よい経営環境をつくらう

2

February  
2019

山形県中小企業家同友会

# 月刊 同友 やまがた



(左より)松岡友路共同求人副委員長、松坂暢浩准教授、佐藤啓共同求人委員長

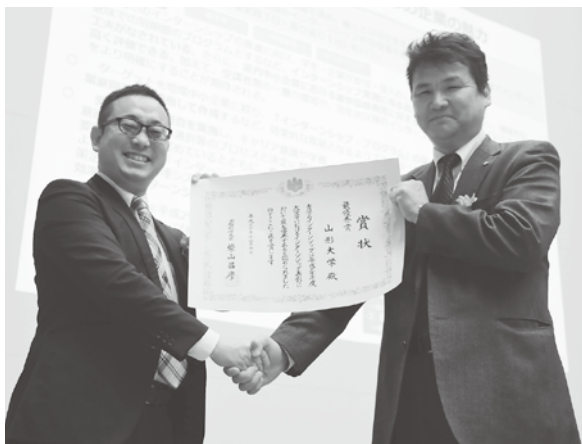


よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす  
中小企業経営者の全国組織

2018年度スローガン

「人を生かす経営」の総合実践で  
地域と日本経済の発展に貢献しよう

# 山形大学と連携したインターンシップが 全国最優秀賞を獲得



5年前より山形同友会と山形大学で連携して取り組んでいるインターンシップが文部科学省「大学等におけるインターンシップ表彰」において、文部科学大臣賞の最優秀賞を受賞しました。山形大学の担当教員の松坂暢浩氏、山形同友会共同求人委員長の佐藤啓氏(㈱サニックス 代表取締役)よりコメントをいただきましたのでご紹介いたします。

このインターンシップでは、企業は学生を受け入れることにより社員教育のチャンスとなり、学生はキャリア意識の向上、地元企業を知るきっかけとなります。ぜひ学生の受入れに手を挙げていただき、教育機関と連携して若者の地域定着を促進していきましょう。

山形大学 学術研究院(学士課程基盤教育機構) 准教授 松坂 暢浩・山本 美奈子

この度、文部科学省「大学等におけるインターンシップ表彰」において、文部科学大臣表彰の最優秀賞を受賞いたしました。これも山形県中小企業家同友会の皆様のご理解とご協力のもと、5年間継続し取組めたからこそその結果であると考えております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今回の表彰は、学生の能力伸長に寄与するなどの高い教育的効果を発揮しており、他の大学等や企業に普及するのに相応しいモデルをグッドプラクティスとして広く発信・普及することを目的に新設されました。文部科学省に届出のある全国163校302インターンシップ・プログラムの中から77校が審査対象になり、そのなかで全国1位に選ばれ、日本一に選ばれたこと大変うれしく思います。

本インターンシップの効果検証において、学生において、

キャリア意識の向上や中小企業のイメージが参加前に比べてポジティブに変化していることが確認できました。また受入企業において、社員の能力向上や組織活性化につながっていることが確認できました。これは、「共有」の考え方で取組んだ成果が裏付けられたものであると考えております。

若者の地域定着を促進するためには、1年次から地域の中小企業の魅力を知ってもらう機会としてインターンシップの活用が有効だと考えています。先日、経団連の「今後の採用と大学教育に関する提案」においても「初年次におけるキャリア教育」としてインターンシップの推進が取上げられております。今後、本インターンシップをさらに充実・拡大させ、「山形モデル」として全国に発信できればと考えております。

山形同友会共同求人委員会委員長 佐藤 啓

このたびの最優秀賞受賞おめでとうございます。この受賞は山形同友会にとっても大変素晴らしい結果となりました。5年間、山形同友会と山形大学が意見交換し共同で作成したカリキュラムにより、受入企業の皆さんと学生が真剣で熱心に取り組んだ結果だと思えます。このインターンシップは、大学・学生・受入れ企業の三者にメリットのある取り組みです。我々受入れ企業側には共育による組織変革をもたらし、魅力ある企業になることで採用と定着につながるインターンシップです。今後もさらに質の高いインターンシップを目指しその効果が広がり発展することを期待しています。そして中小企業の魅力、地域の魅力を発見する学生が増えることで地域活性化につながるものと確信しています。今後とも取り組みへのご支援ご協力と多くの企業からの参加を宜しくお願い致します。

## 【参考】

### ●平成30年度「大学等におけるインターンシップ表彰」受賞大学等

最優秀賞	山形大学
選考委員会特別賞	恵泉女学園大学
優秀賞	長岡技術科学大学 大阪大学 亜細亜大学 東京工科大学 湘北短期大学 仙台高等専門学校

### ●文部科学省のインターンシップ表彰の詳細については、 下記サイトをご覧ください。

・大学等におけるインターンシップ表彰および受賞大学等取組概要  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/internship/1408338.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/internship/1408338.htm)

# 企業訪問

## 外国人実習生の受入れで 世界を変える会社へ

ソーラーワールド(株) (さくらんぼ支部)



自然エネルギー  
機器開発・販売・施  
工等の事業を展開  
するソーラーワ  
ールド(株) (武内賢二  
代表取締役・さく



らんぼ支部会員)では、昨年12月にナイジェリアからの外国人実習生の受入れを行いました。武内氏より受入れの経緯・成果等同社の取り組みをお聞きました。また、実習生のソフィアさんご本人からもお話を伺いました。

### 受入れはInstagramがきっかけ

同社ではInstagramを活用し、自然エネルギーに関する自社の取り組みを英語で全世界向けに発信していました。その投稿に興味を持ちInstagramを通じて、アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)で研修員として琉球大学に派遣されていたソフィアさんより、直接実習受入れの依頼がありました。突然の依頼に「自社で本当に受入れられるのか？」と悩んだものの、社内にJICAボランティア出身の社員がおり言葉の問題は解消できること、山形大学の低学年インターンシップで学生を2年受入れている経験があったこと、受入れを通して社員に会社の理念・事業をより理解してもらいたいとの思いから受入れを決意します。

10日間のカリキュラムの中では、英訳した理念の唱和から始まり、太陽光発電システム導入シミュレーション・施工実習等を、社員で分担して行いました。

### 受入れによる社内の変化

実習中通訳を担当した社員からは、「経営理念を英訳する過程でより自社を理解する機会となった」「地方の会社でも想いを発信することで人が集まってくる会社になれることを実感した」など感想が語られました。同社では、指針書に「世界を変えよう」とうたっていますが、社員にとって具体的ではありませんでした。外国人実習生を受入れて自社の事業が世界へ影響を与えることを実感したことにより、具体化され自社の理念・指針の浸透につながりました。

また、実習では社員自らがソフィアさんに説明するため、社員自身の仕事への理解が深まり、だれが来ても教えられるような社風が変わってきました。

武内氏は「今回の実習により海外展開も含め自社の事業の可能性が広がった。今後もソフィアさんとは色々な形で連携していきたい」と、これからの想いを述べました。

### 実習生のソフィアさんへインタビュー

#### Q1.ソーラーワールド(株)に実習にきた理由は何ですか？

同社のInstagramの自然エネルギーに関する投稿を見て、同社の事業に魅力を感じ、自分が一番やってみたいことだったからです。



#### Q2.実習をしてみてどうでしたか？

太陽光発電システムの設計・施行について学びました。また、武内氏の経営について、お金を稼ぐだけでなく、目的を意識していること、理念に沿って事業を行っていること、社員を大事にし、ワークライフバランスなど社内環境を整備していることに感心しました。

#### Q3.これからの目標は？

母国に帰ったら、まずは現在勤務している電力省で今回の実習で得たことを活かし、政府の太陽光プロジェクトに携わってみたいです。また、将来的には同じビジョンを共有する人と起業したいと思っています。ソーラーワールド(株)さんとは今後もプロジェクトなどで協力をお願いするなど連携していきたいです。



# 山形市長表敬訪問



12月28日、2019年新春交流会開催地である山形市の佐藤孝弘市長に、大久保徳朗氏(実行委員長)、石川晴久氏(副実行委員長)、角田浩二郎氏(実行委員)、布施将英氏(山形支部幹事)、事務局後藤の5名が表敬訪問を行い、同友会の理念と活動内容、新春交流会の開催概要・目的をご説明させていただきました。

今回の新春交流会では青年経営者を中心に運営していることから、佐藤市長より「若い青年経営者がリーダーシップを発揮していくことが地域の活性化につながる。ぜひ頑張ってください」と激励をいただきました。

## 書籍紹介



## 共に育つ 1 一人が育つことの本質と 同友会の社員教育

「教育とは何か～学校・社会・企業すべてに共通する人育ての本質」大田堯・東京大学名誉教授、「同友会の社員教育活動」大久保尚孝・初代中同協社員教育委員長(北海道同友会元専務理事)を掲載し、教育の本質とそのあり方を学ぶ一冊となっております。ぜひ、ご購入、ご活用いただきたいと思います。

A5判、全57ページ、頒価500円。全5シリーズ予定

ご購入・お問い合わせは山形同友会事務局まで

## 事務局移転のお知らせ

1月29日(火)より事務局が下記に移転致しました。宜しくお願い致します。

**新住所** 〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201  
**新電話・FAX番号** TEL 023-615-8302 FAX 023-615-8304

## 山形支部

**関わる全ての人がハッピーだから、時代を超えても支持される**

2019.2.19(火) 18:30~21:00

場所: 山形テルサ リハーサル室  
山形市双葉町1-2-3 ☎023-646-6677

報告者: (株)藤田製館所 専務取締役 藤田通典氏

曾祖父が和菓子店の製館部門から独立し創業、戦中戦後に一時休業するが、一貫して高品質の国産小豆にこだわり、製館業を続けてきた。高品質でデリケートな生餡子の安定供給は和菓子店のライフラインを守ることでもある。創業100年を超えてもなお地域の和菓子店に信頼され支持されてきた理由はなんだろうか? それは商品力だけではない。時代を超えて守られてきた先代の「教え」があり、仕入先を含む藤田製館所に関わる全ての人が幸せになれるから。その「教え」は決して特殊なものではない。人を大切に、凡事徹底、感謝の心、三方良しの精神など当たり前のことが多い。あたりまえのことを当たり前に継続出来るか? 中小企業が時代を超えて信頼、支持されるために必要なエッセンスを藤田専務の報告から学びます。ぜひお誘いあわせの上で参加お待ちしております。

## さくらんぼ支部

**危機感から生まれた付加価値商品と市場開拓**

2019.2.15(金) 18:30~21:00

場所: まなびあテラス 講座室  
東根市中央南1-7-3 ☎0237-53-0223

報告者: (株)半澤鶏卵 代表取締役 半澤清彦氏

物価の優等生といわれる卵。その裏側では激しい価格競争が繰り広げられています。卵の卸業だけでは先がない。危機感をもった半澤社長は付加価値のある商品づくりに力を入れ、誕生したのが「スモッチ」。12年前、地元での販売から始まり新幹線の車内販売。そして県外のお客さんを開拓してきました。今、家庭画報のお取り寄せ通販では8年連続1位となるまで認知度は上がっています。また、昨年にはスモッチの主力工場「スモッチファクトリー」と直販施設「いではCOCCO」をオープンするなど更なるブランド力向上を目指しています。さくらんぼ支部2月例会では半澤社長の報告をもとに、付加価値商品づくりと市場開拓を考え合います。ぜひお誘いあわせの上で参加お待ちしております。

## 庄内支部

**社員3名の家業から企業へ  
～経営指針の実践で隣接異業種にトライ!～**

2019.2.20(水) 18:30~21:00

場所: 鶴岡市総合保健福祉センターにこふる 栄養指導研修室  
鶴岡市泉町5-30 ☎0235-25-2731

報告者: 齊加商店 代表 齊加義三氏

最初は自分と家族の3名で始まった齊加商店。6年前、同友会の「第17期経営指針をつくる会」を受講。経営指針書を作成したことで自社の変革が始まります。明文化した経営理念に向き合いながら会社の計画を作ることで自社のビジョンが明確になり、家業から企業へ脱皮することができました。そして中小企業庁の経営革新支援の認定を経て隣接異業種に参入。“おいしさの物語をつくることで、笑顔が溢れる未来に貢献する”という思いを掲げ、新たなステージ作りに挑戦する齊加代表ですが、そこには常に同友会での学びが生かされていました。同友会に参加し続けられた経営者の本当の仕事を理解し、さらに経営が楽しくなった事例。是非ご参加ください!

## 置賜支部

**父親との親子喧嘩11年、たどり着いたのは…  
会長は社長の用心棒、社長は社員の太陽たれ**

2019.2.26(火) 18:30~21:00

場所: 伝国の杜 小会議室  
米沢市丸の内1-2-1 ☎0238-26-8001

報告者: (株)本多建設 代表取締役 本多作之助氏

大学卒業後、大手ゼネコンに就職。祖父の死がきっかけで13年前に株本多建設に入社し、6年前に社長に就任。就任後すぐに、先代についていた幹部社員が退職。そこから「人」ではなく「会社」に社員がついてもらえるような会社づくりを目指します。会議のやり方を変える、新商品を開発するなど、わざと社員に違和感を持たせ毎年「混乱期」を起こし成長を促しています。その裏では、会長が任せてくれる、相談に応じてくれるなど会長としての思いやりがありました。今回の例会では本多社長ご自身の事業承継の経験とそこからの気づき、株本多建設の会社づくりの途中経過をご報告いただきます。事業承継でバトンを渡す側、受ける側どちらの立場の方も必見です。ぜひ、お誘いあわせの上で参加ください。

## 新庄最上支部

**社長が変わると会社が変わる!  
～指針作りで知ったこと～**

2019.2.19(火) 18:30~21:00

場所: わくわく新庄 相談室  
新庄市下金沢町15-11 ☎0233-23-0197

報告者: (株)板垣水道 代表取締役 板垣一紀氏

後継者として(株)板垣水道に入社した板垣社長。大合併に伴う公共特需の終焉やメーカーの業界参入などで苦境に立たされる中、経営指針をつくる会を受講します。自社の事業とは? 社員とのあるべき関係とは? 悩みぬきながら成文化。初年度は大きな失敗もありましたが、その失敗からも学び、次第に成果が出始めました。社員との向き合い方も根本的に変わり、「人を一番動けなくしていたのは自分だった」と板垣氏は振り返ります。指針作りを通じて自社・自分が変わった報告から、共に学び合ひましょう! 同友会の「経営指針をつくる会」が気になる方のご参加もお待ちしております!

## 寒河江支部

詳細は別途ご案内致します。

## 第5回女性部例会

**企業訪問例会  
～ライフ・ワーク・バランス実践へ～  
自社の取り組み状況と今年の抱負、課題を語り合う**

2019.2.25(月) 10:00~12:00

場所: 庭園喫茶 錦  
山形市蔵王半郷578-5 ☎023-666-3303

参加費: 1,350円 (パンケーキ・コーヒー代)

今年初、そして今年度の締めとなる第5回は企業訪問例会です! 新会員 山川まどかさんの起業経緯を聞きながら、話題のパンケーキをいただきながら素晴らしいお庭を拝見し、2019年の互いの抱負、課題を語り合ひましょう。他社の成功事例・失敗事例からの学びなどを情報交換し、自社、自分で行うべき事を見つける絶好の機会です。男女ともに会員の皆さま、経営者夫人、幹部社員様もお気軽にご参加ください。

# 第9回理事会報告

◆日時:2019年1月16日(水)午後3時~午後5時 ◆会場:山形ビッグウイング ◆議長:後藤副代表理事  
◆出席者:(敬称略)西塔、菅原、後藤、齋藤(志)、越前屋、小川、阿部(和)、佐藤(啓)、赤塚、齊加、阿部(秀)、武内、八代、佐藤(洋)、板垣(Skype)、志田、松岡、大久保、興田、笹林、吉田、事務局 矢作、後藤、芳賀

## ■開会挨拶

西塔代表理事が、「来年3月末の中間協5万名達成に向け、山形も努力する気持ちの表れとして、同友会の場では中間協50周年バッジの着用をお願いしたい。会員数は今月微減したが傾向としては増勢。意気をさらに深め、全体の1%、500名を目指して頑張っていきたい。新春交流会に向け、たくさんの人を集め増強につなげたい」と挨拶をしました。

## ■報告事項

### 1) 中間協新春幹事会報告

西塔代表理事が5万名会員の達成に向けての討議があったことと、課題として挙げた①全会員が経営指針を成文化し、その実践と成果を検証する仕組みづくり②毎月の例会を、自社の経営課題の発見につながるようにする仕組みづくり③会員増強の目標を改めて確認し、達成に向けての活動の見える化(数値化)④青年の力と女性の豊かな感性で、目標達成に向けての雰囲気づくりについて説明。そして広浜会長から「同友会運動の一つ一つが誰にでも誇りの持てるものであることがわかる。使命感と情熱を持ち運動を進めていこう。あるべき姿、目指すものと現状にはギャップがありそれを埋める取り組みをしていこう。毎年会勢がなぜ伸びているのかといえはその気になったからであり、その気になる人を増やしていこう」とまとめがあったことを報告しました。

### 2) 北海道東北ブロック事務局研修報告(文書報告)

### 3) 各支部・委員会・部会より報告

菅原代表理事から青年部立ち上げに向けての協力依頼、経営指針委員会の学習会へ修了生の参加、5月開講の経営指針をつくる会への受講生のお誘い、今後の取り組みとして全県行事後のゲスト参加者への各支部でのフォローについての合意形成、新春交流会のゲスト1名のお誘い、空白地域への会員増強への協力依頼がありました。

### 4) 2018年度12月月次決算報告 (矢作事務局長)

■承認事項(入・退会承認) 入会2名 退会3名 1/16現在 404名

## ■討議事項

### 議題1:2019年度組織目標達成に向けて

菅原代表理事より今後の取り組みとして、入会対象者のフォローと新春交流会へ理事・支部幹事1名のゲスト参加をお誘いすることが提案され、承認されました。

### 議題2:議案書の作成にあたって

西塔代表理事より議案書作成のスケジュールについて説明があった後、2018年度活動のまとめ案、代表役員案が提案されました。まとめ案については、今月中に意見をいただき、再度検討していくこととなりました。

### 議題3:第35回定時総会について

実行委員長を務める興田理事より第35回定時総会の日時案、会場案、講師案が提案され承認されました。

### 議題4:事務局引越しに関する件

西塔代表理事が、1月29日に事務局の引越しを行うことについて

報告した上で、引越し経費について提案し、承認されました。

新住所:山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201

電話023-615-8302 Fax:023-615-8304

### 議題5:第15回経営研究集会的まとめ

松岡理事からまとめ案と収支についての報告が行われ、承認されました。

### 議題6:2019年新春交流会の件

吉田副実行委員長から参加人数の報告があり達成率58.0%(87名)の現状を確認した上で、大久保実行委員長から「定着と採用についての実践についてご報告いただく。業種を問わず参加をしていただきたい」と参加呼びかけの協力依頼がありました。

## ■その他

### 1) 今後の予定

中間協経営労働委員会	1月29日(火)~30日(水)東京
中間協共同求人委員会	1月29日(火)~30日(水)東京
中間協社員教育・共同求人合同委員会	1月30日(水)東京
中間協社員教育委員会	1月31日(水)東京
中間協政策委員会	2月4日(月)~5日(火)東京
食・農学習会	2月4日(月)18:30~ 山形テルサ
就職懇談会	2月5日(火)13:30~ 山形テルサ
第49回中小企業問題全国研究集会	2月21日(木)~22日(金)長崎
中間協青年部連絡会	2月22日(金)長崎
中間協女性部連絡会	3月5日(火)大阪
中間協第4回幹事会	3月12日(火)東京
青年部設立総決起集会	3月12日(火)15:00~ ホテルメトロポリタン山形

### 2) その他

・佐藤淳理事から3月12日に開かれる青年部設立総決起集会の参加呼びかけがありました。

・佐藤啓理事から、共同求人委員会が関係する行事として就職懇談会、奨学金返済支援事業の募集開始、東北工業大学にて行われる東北5県合同企業説明会、インターンシップ表彰の中小企業家しんぶん掲載について報告がありました。

・齊加理事から食農部会学習会の参加呼びかけがありました。

### 3) 第10回理事会の日程について

●日時:2月13日(水) 午後3時~午後5時

●会場:山形同友会事務局

## ■閉会挨拶

菅原代表理事が「山形同友会の立ち位置が変わり重要な位置づけになってきていることを認識できる。様々な取り組みにより、各支部で経営課題を導き出し、その解決のために委員会・部会という下地が整ってきたのではないかと。あとは中間協5万名達成。山形同友会でも来期には500名達成できるのではないかと個人的には実感している。機運が整ったので会員の皆様と手を取り合い、亥年ということもあるので猪突猛進で達成に向かいたい」と述べました。

## 新会員 紹介

◇ <sup>かん</sup> <sup>あきら</sup> 菅 聡氏  
(株)JPD 代表取締役  
映像制作・コンテンツ制作  
新庄最上支部

◇ <sup>こんの</sup> <sup>ひろき</sup> 近野 裕毅氏  
山形空港ビル(株) 総務部次長  
空港ビル及び付帯施設の管理・運用  
山形支部

同友やまがた1月号 (2019年2月1日発行/通巻311号)



“知り合い、学び合い、援け合い”  
山形県中小企業家同友会

〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201  
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304  
URL: <http://yamagata.doyu.jp/> E-mail: [info@yamagata-doyu.jp](mailto:info@yamagata-doyu.jp)

## 【社員共育委員会】

### 「高齢者雇用」について

社員共育委員会は毎月第3水曜日に委員会を事務局にて開催しています。

その中で「学習会」という時間をとり、決められた報告者が問題提起をし、討論しています。

今月は「高齢者雇用」について討論しました。

.....

『60歳以上採用』を積極的に推進する企業も増えている中で各社の現状や意見を出し合いました。

「自社に高齢者がいないため就業規則にも定めていない。ハローワークに行くとその点について書類に『指導』と押印されている。高齢者雇用制度についての指導は現状その程度ようだ」

「プログラミング作業は高齢者には難しく、そういった事業では提案力が生かされるのではないか」

「チームの一員というより、ベテラン一人が担当する部署がある(つくる)ことで活かせると昨年新春交流会で学んだ」

「定年再雇用で立場が変わることを不快に思う方もおり、扱いが難しい」

「セカンドライフで自分の新しい可能性を開拓できるフィールドとして中小企業に目を向ける高齢者も多い」

「退職後別会社で活躍する高齢者の話はよく聞く。会社の歴史や、長年の蓄積を否定・改革する役割を期待できる」

「自社で定年延長した際、気のゆるみなのかかわからないが体調不良の高齢社員が続出した。会社として60歳記念の人間ドック受診を勧めるなどを盛り込んだ『健康方針』を打ち出したいと考えている」

「定年制だけでなく、取締役の役職定年についても整備した方がよい。」

等の意見が出されました。

また、高齢者雇用推進の背景の一つである人手不足についても

「社長の仕事でない仕事を社長がしないと回らない、という状況が増えている」

「社長が現場の仕事をするとその慌ただしさで充実感が得られてしまうのも事実」

「若者の考え方や傾向が、中小企業で長く働けないタイプになっているのもあるのではないか」

等の意見がありました。

少子高齢化、人口減少は地方都市になればなるほどその色合いは濃くなり、地方都市周辺の市町村については更に色濃くなります。

この事による労働力不足は国の政策でもあるように「高齢者」「女性」「障害者」「外国人」などの今までの枠を広げる事や、在宅などの様々な働き方を取り入れて労働力の確保をしていかなければならないでしょう。今、現場に介入しなければならない状況があっても長期的な重要課題に着手していく事が重要だと感じました。

.....

こんな学習会をしています。

自社の経営課題をお持ちになってゲスト参加してみませんか？

【次回社員共育委員会】

■日 時：2月20日(水) 17:00~19:30 (基本的に第3水曜日に開催しています)

■会 場：山形同友会事務局(上部参照) ※事務局に電話1本でOK!ゲスト参加お待ちしております。